

# 第 54 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 令和 4 年 4 月 6 日 午後 3 時から
2. 開催場所 よこてイースト 会議室
3. 委員出席 委員総数 5 名  
出席委員数 5 名  
欠席委員 0 名

出席委員	岡部 えり子	委員長
	佐々木 隆一	副委員長
	土田 百合子	委員
	辻 正憲	委員
	石川 淳	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 4 名

高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長
木匠 一公	支援室長補佐
細川 正実	営業部／番組審議会事務局

- (1) 4月課題審議 審議番組  
向川桜子オリンピック出場記念特番 「smile -北京の空に桜舞う」  
(3月26日 13:00から放送)
- (2) その他

#### 4. 審議事項

(1) ①審議番組 「smile -北京の空に桜舞う」について

- ・序盤、番組開始10分くらいまで、テレビや新聞で見聞きした内容で、ちょっとテンポが物足りなかった感があった。しかし舞台裏を聞く中盤、そして音楽を挟んで各分野や後輩の方々からの質問で構成された後半とテンポアップした感じだった。
- ・オーストラリアでの合宿、そして北京の大会と、なかなか本人を捕まえるのが大変な状況ではありますが、**ZOOM**でのインタビューなどその場所的なハンデを乗り越えることも可能。
- ・「北京の空に桜舞う」の前に、「北京で桜咲け」「北京に桜登場」など中長期の戦略も今後検討してみてもどうか。
- ・進行の男性が上手で、桜子さんの性格がよくわかるコメントを引き出していたと思う。
- ・本人の話を聴かなければ分からない事実があり、その点にスポットを当ててのインタビューも臨場感があってよかった。
- ・伊藤先生・若畑先生からの思い出話、朝倉小・北中からのメッセージもいい役割を果たしていた。
- ・「アルペンを知ってもらえて嬉しい」には実感がこもっていたと思う。今は小学校のみスキー教室があり、中学校はやめた。雪と戦う反面、雪を楽しむ。どう引継ぎ、伝えていくのか。桜子さんの話から、学校現場の課題や社会の課題も見えたトークだと思う。
- ・企画・構成、また「SMILE-北京の空に桜舞う-」のタイトルもインパクトがあってよかった。
- ・前半はこれまで歩んできた実績や北京オリンピックを終えての感想など、後半はお世話になった方からの応援メッセージなど流れ的にもよかった。
- ・選手村での過ごし方など、飾らないところが向川選手の魅力で、とても感じる事ができた。
- ・向川桜子さんの生の声を聴くことができ感動した。
- ・タイムリーな内容で特番ができてよかったと思う。コロナ禍で沈んでいる市内のみなさんも元気が出たのではないかと久しぶりの嬉しいニュースだった。
- ・内容構成について本人へのインタビューと関係者へのインタビューでの構成、飽きさせないように工夫されていたと思う。
- ・オリンピックのお話だけではなく、生い立ちや様々なエピソードを紹介されていて、親近感をもって聞くことができた。
- ・今後も、地元の皆さんを元気にできるような番組を期待します。

#### 《会社側からの回答》

- ・ご意見・ご感想ありがとうございます。おおむね好評いただきましてよかったと思う。いただきましたご意見を今後の番組制作に生かしていきたいと思う。
- ・このような番組を制作できたことは地元のFMとして誇りに思う。

4. その他番組への意見

- ・正月に聴いていたところ、「明日はお正月だね」「まもなくお正月」と流れ、かなり違和感を覚えた。正月くらい考えて流してほしい。

5. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 令和4年5月31日

6. 次回審議番組

「未定」

7. 備考 5月、6月は休会とし、次回は7月に開催予定。